



- ・「第7期活動の報告」について
- ④意見交換（各分科会ごと）
  - （共通事項）
  - ・空堀川の将来像（まとめ案）について
  - ・今季のとりまとめについて
  - ・次期への引継ぎについて
- ⑤その他
  - 市民及び市民団体からの報告について
  - 次期（第8期）の流域連絡会について
- ⑥閉会（事務局）

## 【 議事要旨 】

### ● 合同分科会

#### 【開会】

（事務局） 皆様、大変長らくお待たせいたしました。定刻の 14 時になりましたので、お一方まだ見えておりませんが、今日は中身が盛り沢山という事もございますので、会の方を始めさせて頂きます。久々の会になってしまいましたが、第 20 回の流域連絡会、本日はご案内した通り 7 期のとりまとめという事で、進めていければと思っています。

今日 1 名、傍聴者の方がいらっしゃっております。要領と運営要綱を説明いたしまして、今日発言は控えて頂きたいというような注意事項をご説明致しまして、了解いただいております。よろしく願い致します。

それでは 2 時間の流域連絡会を始めたいと思います。では、座長の〇〇課長の方からご挨拶をお願いします。

#### 【挨拶】

（座長） それでは改めまして、座長の〇〇でございます。本日は、きりのいい回数で、第20回の流域連絡会でございます。今年度初ですけれども、同時に第7期の最終回という事でございます。

先ほど、事務局の方からお話がありました通り、今回、第20回の開催にあたって前回から大分間が空いてしまい、申し訳ございません。調整、準備に手間取ってしまった所もございます。それから、ご存知の方も多いかと思いますけれど、今年、北北建が東京都の合同防災訓練の主催事務所という事で、大きなイベントの対応させて頂いた事と、その他大きなイベント等重なってしましまして、結果として、この会の開催が遅れることになってしまいました。皆様に大変なご心配とご迷惑おかけしてしまった事、お詫びいたします。申し訳ございませんでした。

今回、いよいよ第7期の最終回という事で、これまで皆さんに議論を重ねて、深めて頂きました流域の将来像の総仕上げ、それから第7期流域連絡会全体の取りまとめと、これを確実に第8期へ繋ぐ繋ぎ方、そういった内容について、最後のご議論を頂くというものでござ

います。また今日、お時間がいつもと同じく非常にタイトな状況でございますので、効率的、且つ積極にご議論頂ければと思います。どうぞよろしくお願い致します。

(事務局) はい。〇〇座長、どうもありがとうございました。

では、座って説明させていただきます。まず今日の委員の出席状況でございます。

<出欠状況の確認>

今日のお手元の資料の確認です

<配布資料の確認>

資料の過不足がございましたら、会議の途中でも構いませんので、お声をかけて頂ければと思っております。

それでは、資料1の次第に沿いまして議事の方進めさせて頂ければと思います。それでは〇〇座長、進行の方をお願い致します。

(座長) はい。それでは、次第に沿って進めさせていただきます。まず最初にですね、報告事項に入らせて頂きます。今回の報告事項、内容が大分ございますけども、事務局の方から効率的にお願いいたします。

(事務局) それでは事務局の方から次第に沿いまして、前回の議事と今年度の工事の概要、みなさんに色々議論して頂きました空堀川の将来像のまとめ、それから本日は今期のまとめになりますので第7期の活動報告案についてという事、あと、全体を一回事務局の方から説明させて頂ければと思います。

まず、間が空いてしまったんですけど、前回の議事について。

<【資料4・5】前回の議事についての説明>

次は、今年度の主な工事の概要という事で少しご説明をさせて頂ければと思います。

<【資料6】今年度の主な工事概要についての説明>

続けて申し訳ないんですが、報告事項を先にご説明させていただきます。今日、これから分科会でご議論して頂く内容は、空堀川の将来像と7期のとりまとめという事でございます。

<【資料7・8・9】空堀川の将来像についての説明>

あと、報告事項がもう一点ございます。

<【資料11】第7期活動報告についての説明>

報告事項は以上です。これから分科会の方に入って頂きますが、今回、7期の最後という事で、みなさんに意見交換して頂きたい事が3点ございます。ひとつは資料7の空堀川の将来像でございます。先ほど説明した資料の8とか資料の9を参考にして頂いて、資料7を確認して頂ければという風に思っております。概ね15分程度の時間配分かなと思っております。

で、引き続きまして、7期の最後という事で、今期の活動を振り返って頂きまして、7期の活動はこういう事をしてきたねという事のご確認を踏まえまして、第8期への引継ぎ課題という事で、ご議論の方を進めて頂ければと思っております。

<【資料10】第7期活動内容と次期への引継ぎについての説明>

報告事項が5、6点になりましたが、以上でございます。

(座長) はい、ご苦労様でした。それでは、時間の方が予定よりも押しておりますが、この後、意見交換の方に入らせて頂きたいと思っております。意見交換の中でも、今の報告事項の中身についての議論という事になりますので、詳細についてはこの意見交換の中でご意見等頂ければと思います。意見交換について時間的な何かありますか。

(事務局) はい。4時を終了目標にしております。今、時間押しておりますが、概ね60分という時間の中で、空堀川の将来像を15分程度、今期の取りまとめと次期への引継ぎという所を45分程度の時間で、各分科会まとめ役さんを中心に意見交換をして頂ければという事で、15時35分意見交換終了という形で、進めさせて頂ければ思っております。よろしくお願ひします。

(座長) はい。それでは今から1時間、15時35分に終了という事で各分科会を進めさせて頂ければと思います。それでは、よろしくお願ひ致します。

## ● 各分科会に分かれテーマについて意見交換

## ● 合同分科会

(事務局) はい、それでは本当に時間のない中で、効率的にご議論して頂きましてありがとうございます。時間は十分とは言えませんでしたけども、引き続き流域連絡会を続けたいと思います。〇〇座長、進行をよろしくお願ひいたします。

(座長) はい。みなさん、ご議論を長い時間お疲れ様でした。それでは各分科会ごとにとりまとめの内容を簡単にご紹介頂ければと思います。それでは最初に〇〇まとめ役の方から河川環境分科会のお話をお願ひいたします。

(まとめ役) はい、それでは簡単にご報告をさせていただきます。これ、順番にやった方がいいですね。まず将来像については、河川環境分科会では、まず全体的な構成、大きな項目といったような所で、改めて眺めた時にはたして取りこぼしがあるとか、大きな間違いがあるかないか、あるいは削除していい所があるかと、そういうような所でご覧を頂きまして、その結果としていくつかご指摘を頂きました。

まず、全体的にはこれらの項目、それぞれあるわけですが、将来像という事ではやむをえないかもしれませんが、取り組む優先度のようなものを上手く表現したらどうかというご発言もありました。それから、それぞれの項目名もやや抽象的な表現である訳で、具体的にそういう物についてどう取り組むべきかという所も表現できれば尚いいんじゃないか。

後は細かい表現等についてもいくつかご指摘がありました。例えば、右側の黄色い部分ですけれども、「交流・利活用」といった所の「利活用」はむしろ「活用」といった解り易い言葉で整理した方がいいんじゃないか。それから、項目では「賑わいのある川」という項目の中身の所ですね、安らぐことのできる水辺というような表現がやや対立的な表現になっているという所も、整合性を持たせた方がいいんじゃないかと、こんな意見もございました。

それから、左側の「環境・景観」の多様な生物がすめる川の特に真ん中の所はですね、具体的に生きものの種類の名前が挙がって表現がされているんですけども、こういった所については、生息条件というような表現を入れて総合的な概念で表現した方がいいんじゃないか。具体的なフナとかメダカとかヤゴとか鮎とか、そういう表現よりも将来像としては、総合的な概念での表現の方がよろしいのではないかと、そういうご指摘でございます。

それから下の方の維持管理の所は、先ほども申し上げたように「維持管理しやすい川」といっているんですが、この維持管理の概念、こういった所もより具体的な解り易いものの方がいいのではないかとというようなご指摘だと思います。

それから一番下の協働・連携の仕組みの構築。これについても、もう少し具体性を持たせた表現がよろしいんじゃないかと。おおよそこんな議論であったんじゃないかと思います。短時間で進めたために、私の整理する時間を省略してしまいましたので、後で各委員から補足、修正等あったらお願いしたいと思います。

続いて、今期のまとめの所ですね。これもいくつも出されております。ただ将来像で今、発言をした所とかなり重なった所もあります。一番大きい問題は、2年に亘って何をしてきたかという風に後ろを振り返った時に、そもそも前期からの引継ぎ事項があって当初進めようと色々考えてきた訳ですけども、実際に実現した物という事については非常に乏しいと、こういう反省の念があったんじゃないかなという風に思っています。そういう意味では、この次の引継ぎ事項にその反省を活かしていかないといけないのではないかと、そんな風な整理をさせて頂きたいと思います。もう少し色々あったかもしれませんが、今、私の頭で整理しきれれておりません。

それから、引継ぎ事項ですね。ここは少し全体の中では時間を取らせて頂いて、各委員からそれぞれご意見を出して頂きました。ひとつは、柳瀬川・空堀川流域連絡会にとって最も大事な問題というのはやはり涸れない川というものの実現だと。これは勿論、涸れない川を実現するという事は、誰しもが望む所だと思うんですけども、その具体的な方策等についてはこの引継ぎ事項の中ではきちんと繋いでいく必要があるのではないかとのご発言です。後は、この流域連絡会の設置要項について、今の事と関わりがある訳ですけども、どう何を実現するかという流域連絡会の実行性との関わりの中で、設置要項という物も每期見直していく必要があるんじゃないかというご指摘でございました。

もうひとつは、将来像の下の方の法令の所にも書かれておりますけども、新しい水循環基本法、水の憲法と言われているその水循環基本法、大変大きな重要な理念で立法された水循環基本法。これを、次期ではきちんと流域連絡会の活動の中に取り入れていくべきではないか。こういうようなご発言がありました。それから後、これは将来像の表現とも関わるんですけども、例えばイメージ図と中身の各文章表現とが異なっている部分がある。こういった所はきちんと整合性を持たせた方がいいんじゃないかというような所だと思います。

時間の関係もありますので、一旦私からの報告はこの辺にさせて頂きます。あと、各委員からもし補足ございましたら、大きく漏れている所があったらご指摘を頂きたい思います。よろしいですか。

(座長) はい。ありがとうございます。それでは続いて水循環分科会、〇〇まとめ役、お願い致します。

(まとめ役) はい。まず空堀川の将来像についてなんですけども、これはある程度まとまった事については、よかったんじゃないかという考えです。ただ、これが将来的にどういう位置づけになるのか、具体的にどういう形で使って頂けるのかなという事ははっきりしてないですねという所ですね。細かい文言については議論する時間があまりなかったので、具体的には皆さんから個別に言って頂くようになると思います。

それから、今期の取りまとめについてはですね、特にご意見はなかったんですけども、まとめの資料11の7ページのこの将来像というのが出来たというのはひとつ良い事じゃないかというご意見がありました。それから7期で出来た事という御成橋の所のワンド、ワンドという水溜り。あれと、右岸の桜の木を植栽した事。これは6期でやっていますので7

期はそのメンテナンスしたというだけなので、出来あがった物としては、この将来像位しかないのが残念かなという意見がありました。

それから次期への引継ぎについてですけれども、これについては資料 10 の 6 期からの引継ぎ事項の内、①、②、③、④ですね。①については、今回の 7 期では議論する時間が取れませんでしたので。これは今の空堀川の中で遊水池的に水を蓄える場所としては、ここは最大の場所になりますので、これは引き継いで是非 8 期で議論して頂きたいと。

それから、②、③ですね。これは、今、工事が発注になってかなり進んでいるんですけど、今後の気象変動等で、一応今 50 ミリ対応で、将来的には 65 ミリまでにするという事に東京都の計画ではなっていますが、現実にはそれを超えるような雨、100 ミリなんていうのも毎年のように起こってますから、やはりそれを考えた治水の面からもそういう事を考えた計画にしていく必要があるんじゃないかという事です。

それから④番について。これは特に水循環分科会としては空堀川についての最大の課題ですよ。水質については以前よりはかなり良くなって、魚も鳥も住めるような状況になっているんですけど、水が無いとせっかく将来像をまとめても、何の意味も無くなってしまいう事なので、これについては是非引き続き議論をして頂きたい。

先ほどの、〇〇さんからも水循環基本法というの、取り上げる必要があるのではないかなというご意見もあったという事ですけど、これについては我々の分科会では、細かい話はないんですが、私としてはやはり水量確保のひとつの方法論として、やはり本質的な物が出来て、これは川の中だけではなくて、街づくり全体に関わってきますので、今後やはり議論していく必要があると。④番の中でもいいのかなという風に、私は個人的には思っているんですけども。以上です。

(座長) はい、ありがとうございます。両分科会共に各項目について、共通の思い、考えだったのかなという感じが致します。とりまとめた空堀川の将来像については、本当に皆さん色々と考えて頂いていいものがまとまったと、そういった認識かなと思います。ただ、表現については、まだまだ直すべき所、直した方がいい所があるのかなという所があります。時間の許す限り事務局としても対応してまいりますので、こちらについては、事務局の方にお気づきの点があればご連絡頂いて、時間の中で対応させて頂きたいと思えます。

それから今期のまとめについて、こちらも両分科会共に 2 年間、少し心残りがあるのかなという所だと思います。ただその中で、将来像としてひとつ形がまとまったというのは非常に良い事だなと思います。そして、第 8 期への引継ぎという所では、これも共通でやはり空堀川の水涸れをどうしていくかと、そこがテーマになるのかなと思います。その辺の共通認識を頂けた事が大きな成果だと思いますので、是非、これを 8 期に繋げていきたいと思えます。それでは、どうもありがとうございました。

ここで一旦、意見交換については締めさせて頂きまして、次第でいう 5 番、その他の方に入らせて頂きます。それでは事務局、説明の方お願い致します。

(事務局) はい。では事務局より説明させて頂きます。まず、皆さんにいくつか資料をお配りしてございます。時間があたらご担当の方に説明して頂くかなと思いましたが、申し訳ありません、事務局の方で簡単にご紹介させて頂きます。資料の 13 以降に綴じられたもので、何点かあります。

<【追加資料】空堀川クリーンアップ写真報告 他についての説明>

で、報告事項もう1点ございます。

<【資料13】「柳瀬川・空堀川流域連絡会」事務局からのお知らせについての説明>  
スケジュールの方は、資料の12の方をご覧ください。

<【資料12】活動のスケジュール（案）についての説明>

事務局の方もですね、皆さんのご期待に応えられるよう、意見をききながら、来期も運営していきたいと思っております。よろしく願います。以上でございます。

(座長) はい。ご苦労様でした。それでは次第の方、もうこれで最後になるんですが、閉会の前にですね、2年間本当に会の運営に多大なるご協力頂きました両まとめ役から一言ずつお言葉を頂ければと思いますけど、よろしいですか。時間押しているんですけど、一言だけ。まず、〇〇委員願います。

(まとめ役) 一言だけ、ごあいさつ申し上げます。各委員の皆さん、或いは北北建の事務所の皆さんに大変なご協力を頂きながら、なんとか今日が迎えられたかなという風に思っておりますけど、むしろ反省の方が多かったかなという風に思っております。私は来期も委員として申し込むつもりではおりますけども、引き続きよろしく願ひ致します。ありがとうございました。

(座長) 〇〇まとめ役、願ひ致します。

(まとめ役) 水循環分科会のまとめ役ということをお仰せつかりまして、思いがけなくも仰せつかったもので色々ありまして。特に今、水の確保という事が空堀川の最大の課題なんですけど、これについてあまり進行できなかったかなと。皆さんがおっしゃったように、将来像についてはある程度形になったんですが、それ位しかはっきり言って成果品が無い訳で、また、来期に向けて水量確保を具体的にどうするかという事をやっていきたいなと思っております。皆さん、どうもご協力ありがとうございました。

(座長) それでは、閉会とさせていただきますが、私の方からも一言お礼をさせていただきます。私、昨年4月から座長を務めさせて頂いたんですけども、毎回感じていたのが、皆さん本当に空堀川が大好きなんだなという所と、本当になんとかしなければいけないという強い思い。それを毎回毎回強く感じて、我々としても、責任を非常に感じていた所でございます。事務局として、非常に不慣れで多大なるご迷惑をおかけしてしまって、欲求不満な部分もかなり残ってしまったかなという反省もございますけども、そうした中で、それを我慢して頂いて、運営ご協力して頂いて、本当にありがとうございました。第8期も年内になんとか発進させていきたいと思っておりますので、是非、引き続きご協力の方、よろしく願ひしたいと思います。それでは皆様本当にありがとうございました。これで締めさせていただきます。ありがとうございました。

(事務局) 皆さん、どうもありがとうございました。